

## 急性喘息における抗菌薬(Draft翻訳\*)

### [最新版\(英語版\)はこちら](#)

最終改訂年月 : 29 December 2000

**背景:** 抗菌薬はしばしば急性喘息で入院した患者に処方される。悪化はウイルス性上気道感染(URTI)に誘発されることが多いが、効果に疑問があるにもかかわらず抗菌薬が処方されることがある。急性喘息治療での抗菌薬適用を支持または否定する強いエビデンスがないことから、急性期に抗菌薬がどの程度有効であるかについては検討と議論の余地がある。本レビューではどのエビデンスが利用できるかを評価する。

**目的:** 急性喘息の治療で処方される抗菌薬の有効性を決定する。

**検索戦略:** 電子データベース(MEDLINE、EMBASE、およびCINAHL)を検索してランダム化対照試験と考えられる全ての試験を抽出した。

**選択基準:** ランダム化対照試験(RCT)または準RCTのみを参加適格試験とした。救急治療室または同等の状態での急性喘息を抗菌薬またはプラセボで治療した試験を対象とした。2名のレビューアが独立して関連性、最終的な適性、および方法の質を評価した。

**データ収集分析:** 2名のレビューアが試験の質評価とデータ抽出を独立して行った。

**主な結果:** 可能性のある128件の試験から2件の試験をレビュー対象として抽出した。試験経過中に再入院例があったため両試験では患者数でなく悪化数を報告した。本レビューの総被験者数は97名であるが115例の悪化が記録されていた。2004年3月に最新の検索を実施したが、これ以上試験を見つけることができなかった。1件進行中の試験があった。

**レビューア見解:** 急性喘息治療で抗菌薬が果たす役割は文献から評価しにくい。急性喘息の抗菌薬適用に関しては大規模な被験者が参加する研究が実施されるまで同意した奨励が得られないだろう。

**Citation:** Graham V, Lasserson TJ, Rowe BH. Antibiotics for acute asthma. The Cochrane Database of Systematic Reviews 2001, Issue 2. Art. No.: CD002741. DOI: 10.1002/14651858.CD002741.

**Clib issue No.:** 2005 issue 4

**CRG名:** Airways

\*ご注意: この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。